

アルプラス後付シャッター 全開口サッシ用・装飾窓用 スチール電動シャッター本体 取付説明書

！安全にお使いいただくために

- 本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため、次のような絵表示をしています。

お願い 「必ず行っていただくこと」を示しています。

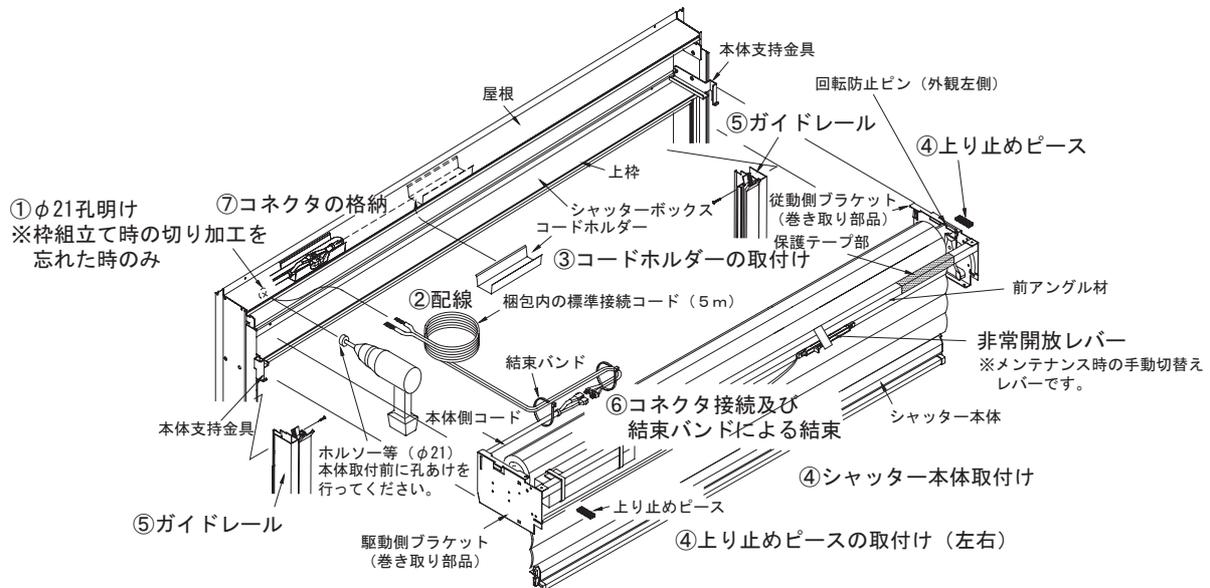
- 本製品の明細は以下の通りです。

シャッター本体 x 1、操作スイッチ x 1、化粧プレート x 1、標準接続コード（電源線5m x 1、信号線5m x 1）、取付部品セット（コードホルダー x 1、上り止めピース x 2個、結束バンド x 2）、取扱説明書 x 1、シャッター本体取付説明書・電気工事説明書 x 1

- その他の梱包

ガイドレール、ボックスカバー、枠、タイマーコントローラー（別売品）、
赤外線リモコン送信機（別売品）

取付け手順概要（各手順の詳細説明は別途）



- ① 枠組立て時の仕上材（鋼板）の切り加工を忘れた時のみ、ホルソーなどで孔あけ（φ21）
- ② 接続コードの配線（接続コードは電源線と信号線の2本コードを配線します。）
- ③ コードホルダーの取付け
- ④ スチール電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取付け
- ⑤ ガイドレールの取付け
- ⑥ 接続コードと本体側コードのコネクタ接続及び結束
- ⑦ コネクタ部分のコードホルダーへの格納

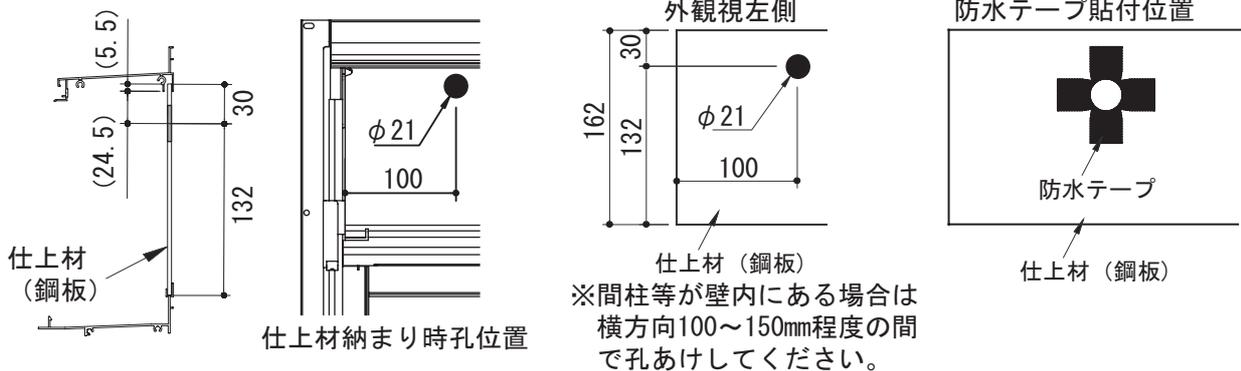
お願い 各手順の詳細説明を必ずご確認の上作業してください。

お願い 接続コードを延長する場合は、必ず電気工事説明書の内容に従って行ってください。

手順1：シャッターボックス内の仕上材（鋼板）への孔あけ

枠組立て時の仕上材（鋼板）切り加工を忘れた時のみ、下図に示す位置にφ21の孔をあけてください。

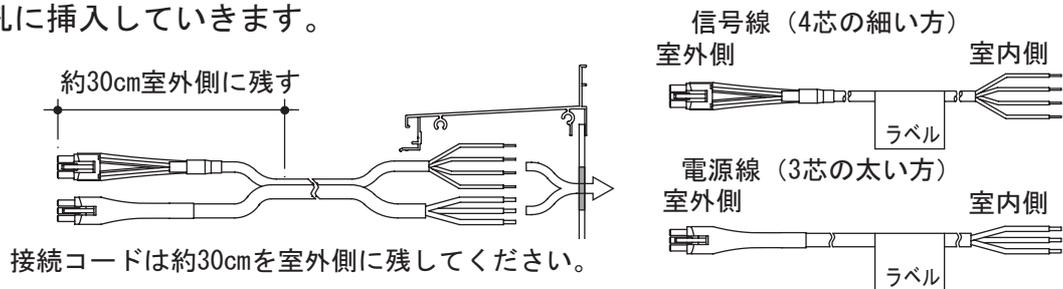
孔をあけたあと、右下図に示すように接続コードの断線を防止する為、枠梱包に同梱されている防水テープ等にて孔の周りを覆うように保護してください。



お願い 孔あけはホルソーなどを使用してきれいにあげてください。
きれいな丸円があかない工具での孔あけはお止めください。

手順2：接続コードの配線（電源線と信号線の配線）

手順1であけた孔に、接続コードを室外側から室内側に向かって図示の方向で孔に挿入していきます。



※ユニット枠を壁付した場合等、外壁に配線用の孔をあけた場合は、接続コードの配線をした後に、エアコン用シールパテ（別途）等にて孔を塞いでください。

手順3：コードホルダーの取付け

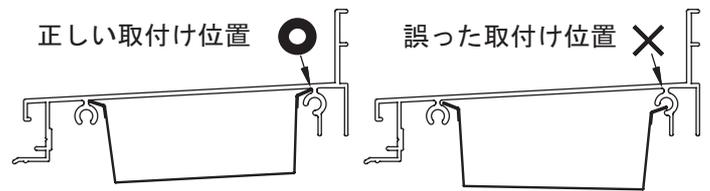
※コードホルダーは手順7の項で、接続コードのコネクタ部分を格納する部品です。

- ①奥のつめを屋根にセット
- ②コードホルダーを指で軽く室内側に向かって軽く押す
- ③手前のつめを屋根に取付け



お願い コードホルダーの奥のつめは正しい位置に取付けしてください。（下図）

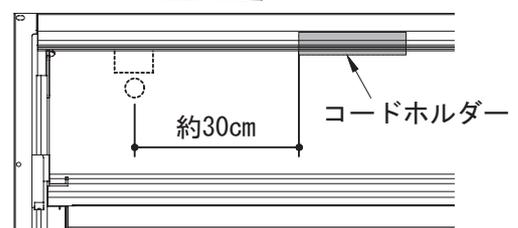
誤った位置に取り付けられますと、コードホルダーが脱落し、不具合の原因となります。



嵌め合わせが弱い時は、コードホルダーを手で広げてください。



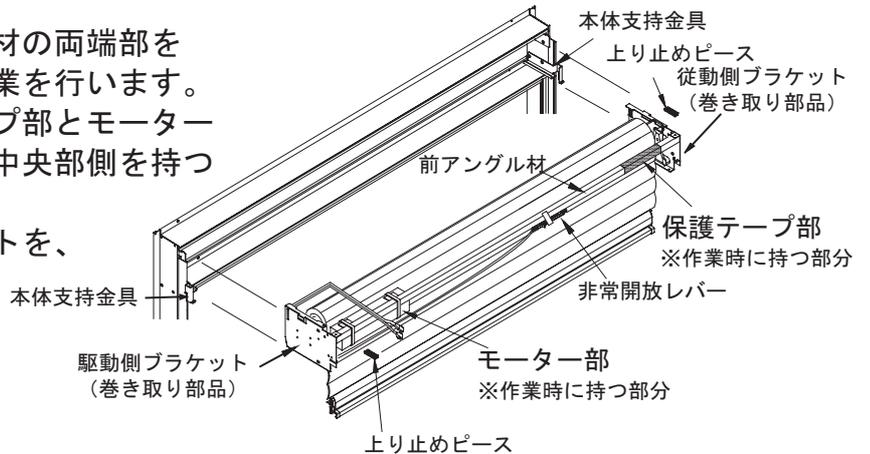
取付け後、コードホルダーをスライドさせて、接続コードの通し孔から約30cmのところに取付けしておくと、後の作業がしやすいです。



手順4：スチール電動シャッター本体の取付け及び 上り止めピースの取付け

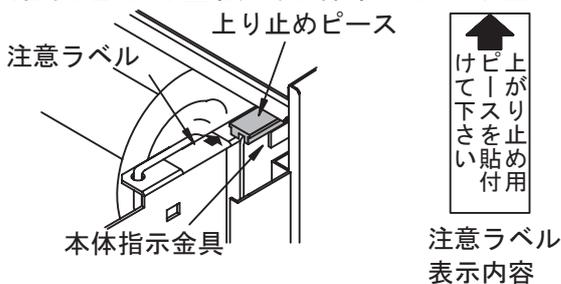
お願い 開梱作業及び取付け作業は、必ず2人以上で行ってください。

- ・シャッター本体の前アングル材の両端部を持ち、開梱作業及び取付け作業を行います。
- ・前アングル材は必ず保護テープ部とモーター部のみを持ってください。（中央部側を持つとアングル材が変形します）
- ・右図の様に左・右のブラケットを、それぞれ左・右の本体支持金具へ差込みます。

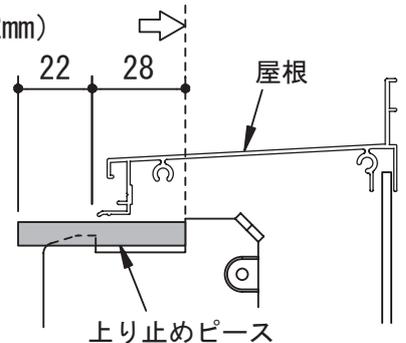


本体取付け後、上り止めピースを左右巻き取り部品と屋根との隙間に取付けます。上り止めピースの離型紙をはがし、溝が本体支持金具をまたぐようにして、奥に突き当たるまで差し込みます。

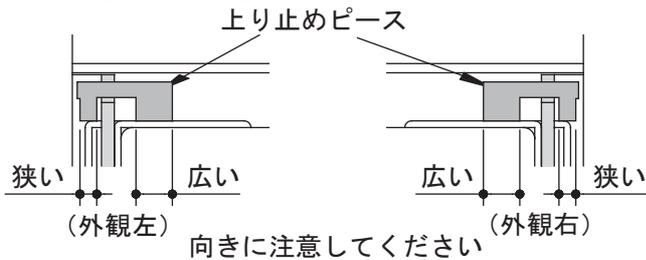
（目安として屋根の先端部から上り止めピースの先端まで22mm）



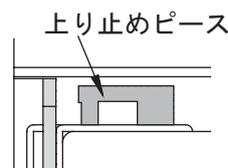
本体指示金具の立ち上がり部分に突き当たるまで差し込む。



○ 上り止めピースの溝が本体支持金具をまたいでいる。



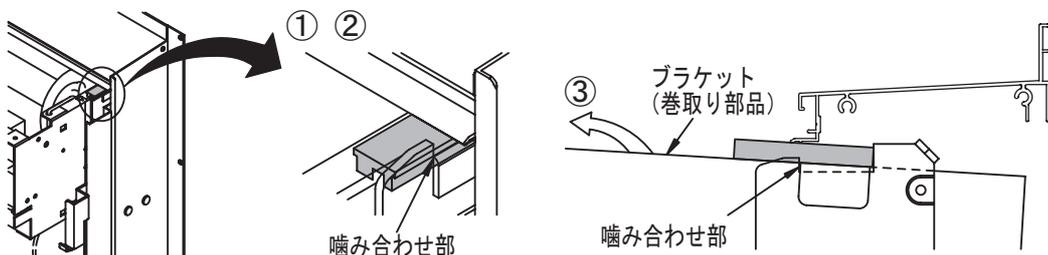
× 上り止めピースの溝が本体支持金具をまたいでいない。



※上り止めピースを取付けないと、シャッター本体が脱落する可能性がありますので、必ず取付けてください。

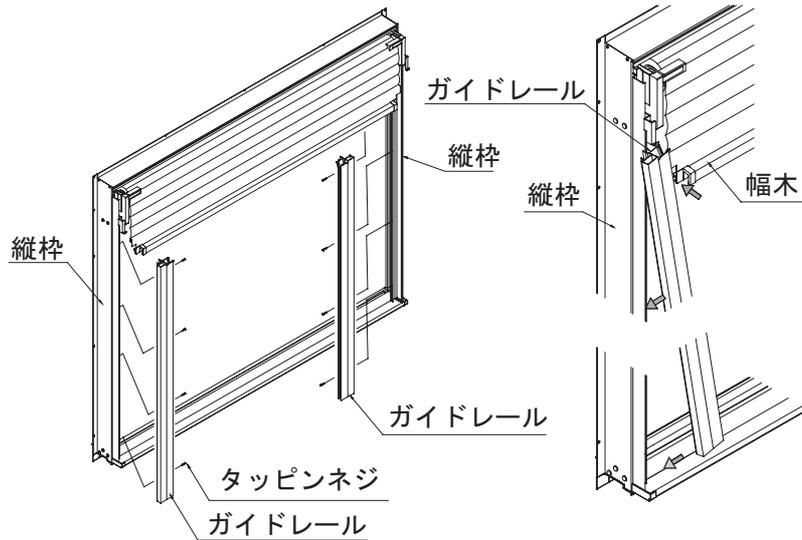
お願い 本体取付け後に以下の確認を必ず行ってください。（下図）

- ① 本体支持金具の上端切り欠き部とブラケットの金具上端突起部が噛み合っていること。
- ② 上り止めピースが本体支持金具をまたいで、奥まで確実に差し込まれていること。
- ③ ブラケット（巻取り部品）の前方部分を持ってシャッター本体を持ち上げて外そうとしても、本体支持金具との噛み合わせ部分を乗り越えられずに外せないこと。



手順5：ガイドレールの取付け ※ガイドレールは別売り、別梱包です。

左右のガイドレールを同梱のネジにて縦枠に固定します。



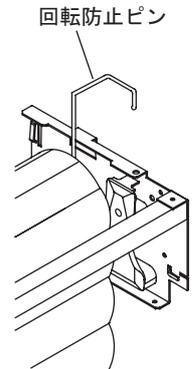
①ガイドレール上部（チューリップ形状部）を幅木に合わせて差し込みます。

ガイドレールを縦枠に嵌め合わせる際に、下枠部を傷付けない様に取付けてください。

②ガイドレールを縦枠に嵌め合わせ、ビスで固定します。

ガイドレールを縦枠に完全に嵌め合わされていることを確認してからビスで固定してください。

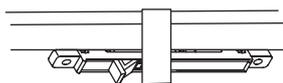
③ガイドレール取付け終了後、回転防止ピンを抜いてください。



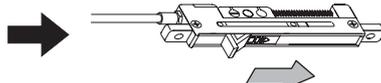
手順6：接続コードと本体側のコネクタ接続及び結束バンドによる結束

コネクタ接続作業スペースを確保するため、非常開放レバーを押し下げ、手動によるシャッター開閉ができる状態にし、シャッターを下降させてください。

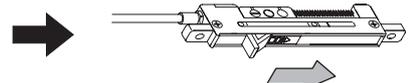
非常開放レバーのロック解除方法



前アングルから非常開放レバーを外します。
(結束バンドは切らないでください)



レバーを押し下げるとロックが解除されます。



もう一度レバーを押し下げるとモーターロックがかかり、電動で使用できる状態になります。

※非常開放レバーはシャッター本体取付終了後、元の位置に先に固定されていた結束バンドで固定してください。
(非常開放レバーは、メンテナンス時の切替えレバーです。)

本体側コードと接続コードのコネクタを接続してください。

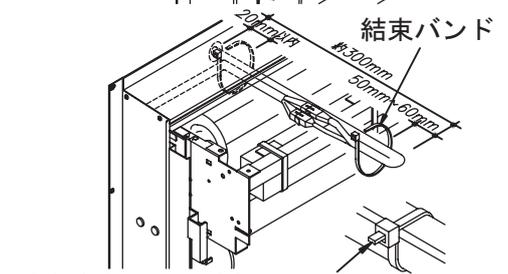
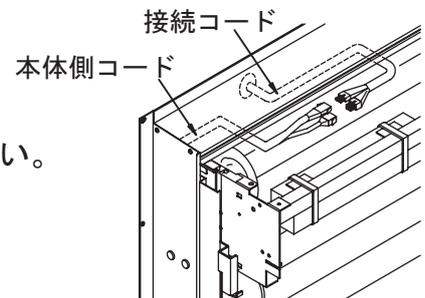
お願い

コネクタがしっかりと噛み合うように接続してください。

接続コードと本体側コードをまとめて付属の結束バンドにて右図の2箇所を結束します。結束後、余分な結束バンドの先端部は切断してください。

お願い

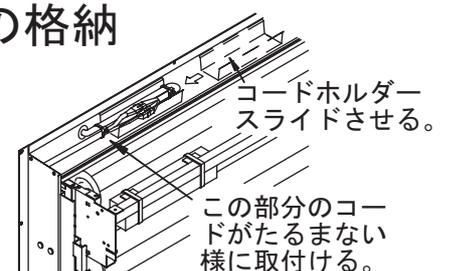
結束コードが躯体に入り込まぬようにしっかりと結束してください。



結束後余分な先端部は切断

手順7：コネクタ部分のコードホルダーへの格納

手順3で取付けておいたコードホルダーをスライドさせてコネクタ部分を納めます。



以上で本体の取付けが完了です。

本体取付完了の後に、シャッターボックスカバー、操作スイッチを取付けて仮設電源にて作動確認（上・下限の初期設定）を行ってください。